

札幌の冬の魅力、  
子どもたちに届けましょう!

# 雪学習 NEWS

札幌市内  
小学校  
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。

No.36

体育

## 冬と親しむ

昨年の夏には東京オリンピックがあり、札幌でもマラソンや競歩の競技が行われました。そして今年2月にも冬のオリンピックが行われます。今回は札幌に関連する冬のスポーツや札幌で行われた冬のオリンピックについて特集しました。

### 札幌発祥の冬のスポーツ 「スノーホッケー」



#### ❄️ スノーホッケーってどんなスポーツ?

昭和58年に札幌市で誕生した、アイスホッケーを雪上で行うようなウインタースポーツです。公園の広場や学校のグラウンドなどがあれば誰でも簡単にできます。用具は、パックの代わりに丸いボールを使い、レッツと呼ばれるプラスチック製のミニスキーとスティックを持って行う、雪と親しむにはぴったりな手軽なスポーツです。

ルールは、アイスホッケーやグラウンドホッケー、サッカーをもとに札幌市が考案しました。2つのチームに分かれて、スティックでボールを打ち、相手のゴールを狙います。雪の上はレッツをはいて移動しますが、最初は難しいかもしれませんが慣れてくると、走るよりもスピードが出て誰にでも滑ることができ、とっても簡単ですぐに楽しめます。



スノーホッケーを楽しむ様子

#### 用具はこの3つ!

##### スティック

木製のスティック。長さは95センチメートルから98センチメートル。腰より高く上げると反則になってしまいます。スティックで転がすだけでなく、浮かしたりリフティングしたりすることも可能です。



##### レッツ

プラスチック製のミニスキー。長さは41センチメートルから45センチメートル。最初は滑るのが難しいですが、慣れるとスピードを出すことができ、とても楽しいです。

##### ボール

オレンジ色の軟式プラスチックボール。直径6センチメートルから7センチメートル。このボールが実は固いです。スティックでインパクトよく打てると、とても気持ちよいです。

#### ❄️ 体育の授業でもぜひ!

札幌市の教育で雪を大切にしています。その一環として体育の授業にもあいます。実際札幌市の小学校でも行われています。領域としては「ゲーム領域のゴール型」の学習になります。子どもたちほとんどが初めて経験するので、これまでの経験は関係なく、みんなが同じスタートラインに立てるよさもあります。スキーが苦手でもレッツをはき素早く動いている子どもも多いです。

初めてスノーホッケーをやったけど、最初は難しかったけど、どんどん上手になってきて楽しかったよ。



実際の子どもの声

どんどんやるよ、とても疲れるし、汗もたくさんかいて、とてもよい運動になったよ。



学校によっては、少年団があったり、札幌市でも大会が行われたりしています。札幌生まれのスポーツに触れてみてはいかがでしょうか?雪との親しみがさらに深まります!





# なるほど!札幌の冬

～朝の会で使える小ネタ～  
実物投影機で大きく映そう!!



## ❄️ ウィンタースポーツがつなぐオリンピックの昔と今

昨年の日本の夏はオリンピックで熱くなりましたね。わたしたちの暮らすここ札幌もマラソンと競歩の会場となり、選手が走り抜けたコースが今も残っています。

さて、今から50年前にもオリンピックが札幌で開かれたのは知っているでしょうか?しかも、アジア初となる大会だったんですよ。当時、会場として使われた競技場やスキー場は今でも市民に親しまれ、冬のスポーツを支えています。

現在、札幌市は2030年の冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指しています。さて、今後どうなるのか気になりますね。



真駒内屋内競技場  
(現真駒内セキスイハイムアイスアリーナ)



札幌オリンピック閉会式  
(1972年2月:真駒内屋内競技場)  
札幌市公文書館所蔵

50年前の  
オリンピック選手が  
滑ったコースを楽しんで  
いるんだね。



手稲山(サッポロテイネ)

## Q&A

### Q.ロードヒーティングに雪が残っているのはなぜ?

**A.** 札幌市のロードヒーティングの熱量設定にあたっては、大雪や極低温のときにも直ちに融雪して雪の無い路面状態を保つことは高額な費用を伴うため、設計気象条件を「降雪量: 3cm/h、気温: -7℃、風速: 5m/s」と設定し、設計発熱量を250 W/m<sup>2</sup>としています。あらゆる気象条件にも対応できるようにするためには、設計発熱量を大幅に増やす必要がありますが、現在、ロードヒーティングの光熱費等の維持管理費には年間10億円以上もかかっており、この費用をさらに増やすことは、財政的に難しい状況です。このため、ロードヒーティングの融雪能力を超える気象条件になれば、雪が融けてなくなるまでに時間がかかることもあります。冬道の運転は、ロードヒーティングのある場所でも油断せず、ゆとりを持った安全運転をお願いしています。



### 授業をサポートする資料は、ここ!



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習  検索

雪学習  
HPは  
こちら→

